

# 「関節運動を考える会」特別篇 2019

## ～運動器疾患における徒手療法、運動療法の理論的背景、および治療展開における根拠の確立～

運動器疾患の治療において、徒手療法や運動療法を用い治療を展開していくことは、誰しもが行っていることであると思われます。

ところが、徒手療法や運動療法を行うに際して、明確な根拠のもとに治療を行っているケースは意外に少ないかもしれません。学校教育においても、手技や運動療法の紹介はあっても、それらが厳密に、どのようなケースに適用できるのかということに関しては、教わっていないことが多いのが現実となっているのではないのでしょうか。

皆さんもご存知の通り、徒手療法や運動療法は、データとして非常に捉えにくく、EBPT(EBM)として確固たるものとは言えないかもしれません。

しかしながら、ひとりの患者をシングルケースとしてみたときには、自ら行っている治療に根拠を持って、治療を展開することは非常に大切なことでもあります。

今回のセミナーでは、4人の先生にご登壇頂き、改めて、徒手療法や運動療法について考えていきたいと思っております。

また、これからの理学療法士の開業についても議論していく予定です。

## 「関節運動を考える会」特別篇 2019

### 「徒手療法の科学的根拠のとり方(仮題)」

常葉大学 佐藤 友紀先生

### 「変形頸椎症の徒手療法」

国際医療福祉大学成田キャンパス 宮森 隆行先生

### 「動きを引き出すために、私が考えていること、工夫していること」

昭和大藤が丘リハビリテーション病院 鈴木 貞興先生

### 「今こそ考える理学療法士の開業」

足柄リハビリテーションサービス 露木 昭彰先生

場所:アルケア株式会社(東京都墨田区錦糸町)

日にち:2019年1月27日(日)

時間:10:00~17:30

セミナー費: ¥6,000-

定員:70名

募集資格:理学療法士、作業療法士、鍼灸按摩などの国家資格をお持ちの方、もしくは現在それらの養成校に在籍の方。

申し込み方法:[mpc-miyazawa☆ms-pt-conditioning.jp](mailto:mpc-miyazawa☆ms-pt-conditioning.jp) の宮澤宛のメールに、氏名、所属先を明記の上お申し込み下さい。

\*迷惑メール対策のため、アドレスの☆を@に変換して申し込みをお願いいたします。

\*また、メールの件名に、「関節運動を考える会」特別篇 2019 と記載してください。

M's PT Conditioning 代表

関節運動を考える会代表

宮澤 俊介